

[令和7年度学校評価計画]

徳島県立那賀高等学校

自 己 評 価				学 校 関 係 者 評 価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価		
1 生徒の資質・能力を伸ばす学習指導	Ⅰ) 分かる授業と基礎基本を定着させる指導と支援 【教務部、進路指導部】 Ⅱ) 学習意欲を向上させ、学習習慣をつける指導 【教務部、進路指導部】 Ⅲ) 効果的な習熟度別授業の展開と個別指導の充実 【教務部、進路指導部】 Ⅳ) 国際交流活動をととした国際理解教育の推進 【国際交流委員会】 Ⅴ) 普通科及び森林クリエイト科の特長を生かした教育活動の充実 【教務部、農務部】	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
		Ⅰ) 研究授業(教科)、公開・参観授業に全教職員が年間2回以上参加。	Ⅰ)	(評定)	
		Ⅱ) 「家庭学習の習慣が確立できている。」生徒の割合が45 %以上。	Ⅱ)		
		Ⅲ) 「一人ひとりに応じた適切な進路指導が行えている。」90 %以上。	Ⅲ)		
		Ⅳ) オンライン交流及び語学研修の実施。	Ⅳ)		
		Ⅴ) 授業満足度 85 %以上。	Ⅴ)		
		活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
		Ⅰ) フレッシュ研修Ⅰ・Ⅱ、ミドルリーダー研修、中高一貫教育T.T、相互参観授業等を実施する。	Ⅰ)		
		Ⅱ) 週末課題、スタディサブリ、補習授業、Teams等を活用する。	Ⅱ)		
		Ⅲ) コース選択・科目選択ガイダンス、習熟度・進路希望別による授業展開を実施する。	Ⅲ)		
Ⅳ) 台湾の高校生とオンライン交流。ニュージーランド語学研修を実施する。	Ⅳ)				
Ⅴ) 各コースの特長を生かした授業を展開し、一人一人の進路に応じた指導を行う。	Ⅴ)				
2 心のかよう生徒指導	Ⅰ) 基本的生活習慣の確立 【生徒指導・教育相談部、環境厚生課】 Ⅱ) 安全・安心な学校教育の実施と保護者との連携強化 【生徒指導・教育相談部】 Ⅲ) 個別指導をととした生徒理解と望ましい集団づくり 【生徒指導・教育相談部】 Ⅳ) 特別活動・部活動の更なる活性化と生徒・教職員の信頼関係の強化 【特別活動課】 Ⅴ) 教育相談活動及び特別支援教育の充実 【教務部、生徒指導・教育相談部】	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
		Ⅰ) -①欠席数・遅刻者数、前年度の90 %以下。	Ⅰ)	(評定)	
		Ⅰ) -②服装・頭髪検査違反者が全体の15 %以下。	Ⅱ)		
		Ⅰ) -③定期健康診断結果で、内科・心電図検査の精密検査が必要な生徒の医療機関受診率100 %。			
		Ⅱ) -①交通・生活安全指導を毎月実施。ヘルメットの着用率 50 %以上。自転車事故の件数3件以下。			
		Ⅱ) -②薬物乱用防止教室、携帯電話安全教室を実施する。(年1回以上)			
		Ⅲ) -①感染症に罹患した生徒数の前年度比減少。		Ⅲ)	
		Ⅲ) -② AED を用いた心肺蘇生法や救命救急処置法に関する講習会(教職員、部活動代表生徒それぞれ1回実施)			
		Ⅲ) -③学校生活に関するアンケート調査。(年4回実施)			
		Ⅳ) 球技大会や学校祭の学校行事で「満足」と答えた生徒の割合80 %以上。	Ⅳ)		
Ⅴ) 個別面談(各学期始め)、三者面談(年1回以上)スクールカウンセラーとの計画相談を実施する。	Ⅴ)				
活動計画	活動計画の実施状況				
Ⅰ) -①個人面談等を実施し、保護者との連携も図りながら、生徒が登校できるように支援する。また、遅刻生徒の入室許可証の提出を徹底する。	Ⅰ)	Ⅱ)			
Ⅰ) -②授業の始業時や学校安全の日など、日頃から教員が確認し、必要に応じて声かけを行う。					
Ⅰ) -③精密検査の必要な生徒に対し、医療機関への受診勧告を行う。					
Ⅱ) -①学校安全の日の登校指導を実施する。また、秋の全国交通安全運動期間中の交通安全運動、交通安全教室を年1回以上実施する。また、スタントマンによる交通安全教室を実施し、臨場感のある実演を行うことで、交通ルールの遵守ヘルメット着用の大切さを学ばせる。					
Ⅱ) -②外部の専門家を招聘し、実施する。					

		<div>Ⅲ) -①感染症や伝染病予防の充実を図るため、年度当初及び必要に応じて随時個人面談や保健調査を実施し、健康で安全な学校生活に必要な情報を集め、学習環境を整える。 また、年に4回環境衛生検査を実施し、結果をもとに教室環境を整える。</div> <div>Ⅲ) -②那賀町消防署と連携し、事故や災害に備えて、自他の生命を守るための知識と意識の高揚を図る。</div> <div>Ⅲ) -③生徒のメンタルケアと、いじめ等を早期発見するため、学校生活に関するアンケート調査を実施する。</div> <div>Ⅳ) 生徒会役員・部活動生徒が特別活動関連行事に円滑に参加できるよう、企画から運営まで計画的に指導する。</div> <div>Ⅴ) 4月・9月・1月に個別面談、夏休み三者面談、スクールカウンセラーによる計画相談を実施する。</div>	<div>Ⅲ)</div> <div>Ⅳ)</div> <div>Ⅴ)</div>			
3	学びあい響きあい高めあう心の教育の推進	<div>Ⅰ) 豊かな人間性と社会性の涵養による自信や誇り、自己肯定感の醸成 【特別活動課】</div> <div>Ⅱ) 人権意識の高揚と一人一人の人権が尊重される学校づくり 【人権教育部、生徒指導・教育相談部】</div> <div>Ⅲ) 情報モラル教育の推進 【みらい創造部、人権教育部】</div> <div>Ⅳ) 学校・家庭・地域との連携の強化 【人権教育部】</div>	<div>評価指標</div> <div>Ⅰ) 学校祭HR（2回）、団別集会（17回）を実施し、学校行事により集団への帰属意識や協調性が養われたと答えた生徒の割合、90%以上。</div> <div>Ⅱ) 人権委員による人権デーを年6回、校内人権関連行事を年1回以上開催する。</div> <div>Ⅲ) 新入生を対象にスマホ・ネット安全教室、「インターネットによる人権侵害」についてのHR活動を年1回以上実施する。</div> <div>Ⅳ) PTAや人権擁護委員に、校内人権関連行事への参加を呼びかけるとともに、人権学習の様子をホームページに年10回以上掲載する。</div>	<div>評価指標の達成度</div> <div>Ⅰ)</div> <div>Ⅱ)</div> <div>Ⅲ)</div> <div>Ⅳ)</div>	<div>総合評価 (評定)</div> <div>(所見)</div>	
			<div>活動計画</div> <div>Ⅰ) 学校祭HRや団別集会、学校行事をととして、学級内のみならず、学年全体、学校全体で協力し、自己有用感を高める。</div> <div>Ⅱ) 人権委員による人権放送を実施する。また、映画会や意見発表会などを実施する。</div> <div>Ⅲ) 新入生を対象に、5月中旬にスマホ・ネット安全教室を開催、5月末に「インターネットによる人権侵害」についてのHR活動を実施する。</div> <div>Ⅳ) 人権に関する行事を計画し、その様子を家庭や地域に向けてホームページで発信する。</div>	<div>活動計画の実施状況</div> <div>Ⅰ)</div> <div>Ⅱ)</div> <div>Ⅲ)</div> <div>Ⅳ)</div>		
4	夢をはぐくむ進路指導	<div>Ⅰ) 進路実現を図る学力の育成 【進路指導部】</div> <div>Ⅱ) 進路意識を向上させる各種行事の計画と実施 【進路指導部】</div> <div>Ⅲ) 進路ガイダンスの充実と教職員のガイダンス能力の向上 【進路指導部】</div> <div>Ⅳ) 資格取得・検定合格に向けた指導の充実 【国語科、英語科、情報科、農業科、管理職】</div> <div>Ⅴ) 保護者対象進路説明会の充実 【進路指導部、総務部】</div>	<div>評価指標</div> <div>Ⅰ) 3年生対象の「早朝補習」を設定する。(週3回実施)</div> <div>Ⅱ) 学年段階や学科・コースに応じた進路ガイダンス(年2回以上実施)、インターンシップ(2年)実施する。</div> <div>Ⅲ) 大学・専門学校の説明会に参加し、教員の進路指導スキルを高める。</div> <div>Ⅳ) 各種資格検定を学校で行う。検定対策補習を実施する。5種類以上の資格検定を実施する。</div> <div>Ⅴ) 校内進路説明会(全学年)を各学年1回実施する。</div>	<div>評価指標の達成度</div> <div>Ⅰ)</div> <div>Ⅱ)</div> <div>Ⅲ)</div> <div>Ⅳ)</div> <div>Ⅴ)</div>	<div>総合評価 (評定)</div> <div>(所見)</div>	
			<div>活動計画</div> <div>Ⅰ) 早朝補習を計画・実施する。</div> <div>Ⅱ) 校内進路説明会やインターンシップ(2年)の振り返りを実施する。</div> <div>Ⅲ) 各種大学等の説明会に積極的に参加する。</div> <div>Ⅳ) 資格検定を学校で実施する。日程を早期に案内し、早朝補習や放課後補習を開講する。また、</div>	<div>活動計画の実施状況</div> <div>Ⅰ)</div> <div>Ⅱ)</div> <div>Ⅲ)</div> <div>Ⅳ)</div>		

		森林クリエイト科においては、実技講習を実施する。				
		V) 各学年1回実施する。適宜スタディサブリ等を活用して、情報発信する。	V)			
5	G I G Aスクール構想の推進と防災教育・環境教育の充実	I) G I G Aスクール構想の推進による学びと働き方の変革 【みらい創造部、管理職】 II) 防災・減災教育の深化とエシカル教育の充実 【環境厚生課、エシカルクラブ】 III) 校内外の環境美化活動の推進と環境教育の充実 【環境厚生課】	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
			I) -① ICTを活用した授業実践を行う。	I)	(評定)	
			I) -②時間外在校時間を前年度より削減させる。			
			II) -①防災避難訓練・講習会等年4回以上実施する。教育委員会・地域主催の防災イベントの生徒参加率を前年度比より増加させる。	II)		
			II) -②エシカル消費に関わる「服活」等の校外イベントを年10回以上実施する。			
			III) -①ごみの分別が「できている」と答えた生徒の割合90%以上。	III)	(所見)	
6	連携型中高一貫教育プログラムの推進	I) 地元中学校との連携を強化した授業の実践 【教務部、管理職】 II) 学校行事における合同事業の充実 【教務部、特別活動課】 III) 連携中学校への積極的なPR活動 【特別活動課】	活動計画	活動計画の実施状況		
			I) -①相互授業参観や、デジタル採点システムを活用する。	I)		
			-②時間外在校等時間が多い教職員の勤務状況を把握し、業務内容等を確認する。			
			II) -①防災避難訓練を実施し、学校防災人材支援講座への参加を支援する。また、学校外の防災活動への参加を促し、防災意識の向上を図る。	II)		
			II) -②HPやSNSでの広報活動を行い、服の回収や「服活」イベントへの積極的な参加を呼びかける。			
			III) -①各生徒が校内でのゴミの分別を徹底できるよう、定期的な環境委員によるゴミ箱のチェックと分別の呼びかけを行う。	III)		
			III) -②環境委員を通して教室の美化・環境整備を徹底し、日々の清掃活動の徹底に加え、大掃除の際に普段できていないところまで清掃を行うことで、校内美化活動を推進する。			
			III) -③学校周辺だけでなく地域の美化活動に取り組むとともに、ゴミを捨てる際のマナーの遵守を呼びかける。			
			評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
			I) 連携型中高一貫教育の特色を生かして教育活動に取り組んでいると肯定的な割合80%以上。 (職員)	I)	(評定)	
			II) 連携型中高一貫教育の特色を生かした教育活動への満足度90%以上。(生徒)	II)		
			III) -①中高交流行事を実施する。	III)	(所見)	
			-②体験入部を実施する。			
			活動計画	活動計画の実施状況		
			I) 研究委員会(年3回)	I)		
			各種専門委員会を開催する。(各種2回以上)			
			II) 体験入学、生徒会研修会、学校祭、オンライン交流会を実施する。	II)		
			III) -①那賀高校と連携中学校の生徒会役員による各学校紹介や情報交換・レクリエーション等を実施する。また、那賀高祭での連携中学校生の参加について、参加形態や方法について事前の連携、打ち合わせを早い段階で行う。	III)		
			-②多くの生徒に参加してもらえるように、各部活動で中学生を受け入れ、中学生体験入学時や他の時期にも体験入部を実施する。			

7 地域に関 れた活力ある 学校づくりの 推進	Ⅰ) コミュニティ・スクールを活用し た地域とともにある学校づくり 【管理職】 Ⅱ) 魅力ある学校行事の実施と保護者 や地域の人々への学校公開 【特別活動課】 Ⅲ) ホームページ、広報新聞、ケーブ ルテレビ等によるPR 【管理職、せせらぎ新聞】 Ⅳ) 地域と協働した学習活動の充実と 地方創生の担い手となる人材の育 成 【みらい創造部】	評価指標	評価指標の達成度	総 合 評 価
		Ⅰ) 学校運営協議会を3回実施する。	Ⅰ)	(評定)
		Ⅱ) 学校行事に生徒が主体的に参画できるよう、 生徒会が中心となる取組を検討する。	Ⅱ)	
		Ⅲ) 広報新聞(「せせらぎ新聞」)年3回発行する。	Ⅲ)	(所見)
		Ⅳ) 地域と協働した授業実践を各学期1回以上実 施する。	①	
		活動計画	活動計画の実施状況	
		Ⅰ) 本校の教育活動や地域の抱える課題や特色あ る教育活動等を協議するとともに、地域と協働 した新しい取組を検討する。	Ⅰ)	
		Ⅱ) 学校祭や中学生体験入学のイベントなどで生 徒が主体となって活動する。	Ⅱ)	
		Ⅲ) 那賀高校の取り組みが伝わる記事を作成し、 広報する。	Ⅲ)	
		Ⅳ) インターンシップ、地場産業体験実習、キャ リア教育講演会を実施する。	Ⅳ)	